

市長記者発表

(新型コロナウイルスの感染対策の徹底、「おんまく」の開催について)

令和4年8月3日

はじめに

まず始めに、昨日報道発表させていただいたとおり、一昨日（8月1日）市内の医療機関において17歳の女性へのワクチン誤接種がございました。3回目のワクチン接種にモデルナ社製を使用してしまったというものでございます。昨日は微熱があったようですが、現在は熱も治まっているとのことでございます。

なお、市内の個別接種医療機関に対しては、年齢等の接種要件確認を徹底し誤接種の防止に努めるよう、改めて要請させていただいております。

次に、先月からお願いしている「節水」についてでございますが、最近の降雨により玉川ダムの貯水率は本日9時現在で80.3%となっております。平年に比べるとまだ10ポイント以上低い状況でありますので、市民の皆様にはご不便をおかけしますが、今しばらくの間、節水にご協力をいただきますようお願いいたします。

それでは、記者発表に移らせていただきます。本日の発表事項は①「新型コロナウイルスの感染対策の徹底について」と②「おんまぐ開催について」の2点でございます。

1 新型コロナウイルス感染対策の徹底

まずは、今治市の新型コロナウイルスの感染状況についてでございます。残念ながら、6月下旬から増加し始めた感染者数はその後も増加を続け、昨日（8/2）の発表分では185名と過去最多の感染者が確認され、本日の発表分も150名を超える数となりそうです。

こうした状況を踏まえ、県においては「BA.5対策強化宣言」を近々にも発令する方向で検討が進められているようであります。特に「大勢が集まるイベントでの感染対策の徹底」「高齢者の感染リスクの高い場所への外出の自粛」「飲食店への換気徹底の要請」などが予定されていると伺っております。

本市の7月の年代別感染者数は、50歳未満の方が全体の約75%を占めており、中でも20歳未満の方の感染も多くなるなど、若い世代で感染が広がっているようです。3回目のワクチン接種がまだお済みでない方は、十分な接種体制を整えておりますので、夏休み中の接種をぜひご

検討ください。

また、60歳以上の方や基礎疾患をお持ちの方等につきましては、重症化予防のため、お早目に4回目のワクチン接種を、さらには、お盆に帰省される方、帰省されるご家族を迎えられる方は、ご家族のためにもお盆前のワクチン接種をぜひご検討ください。

本市の医療提供体制につきましては、今治市医師会をはじめとする医療従事者の皆様のおかげで、現在のところ逼迫する状況にはなっておりませんが、感染者の増加による外来患者や自宅療養者の増加等により、決して油断できない状況となっております。

このような状況を踏まえ、先日、今治市医師会、今治保健所、今治市健康福祉部や今治消防が緊急会議を開き、第7波の感染拡大への備えのため、新型コロナの重点医療機関と救急病院の連携等について再確認をおこないました。

市民の皆様におかれましても、感染回避行動を徹底し、医療提供体制の維持のためご協力をお願いいたします。

加えて、お盆に向けて人の往来も一段と多くなることが予想されます。お盆で帰省した友人や普段顔を合わせない親族らとの会食は特に注意をいただきたいと思います。また、これまで何度もお願いしてきたことではありますが、会食ルールの徹底、必要な場面での正しいマスクの着用、手指消毒、こまめな換気、三密の回避など、基本的な感染対策の

徹底については、引き続きよろしくお願いたします。

なお、市内 16 箇所で「PCR 検査や抗原検査」を無料実施しております。発熱、咳、のどの痛み等の症状がなく、保健所等から濃厚接触者の指定を受けていない無症状の方は、どうぞご利用ください。

2 「おんまく」開催について

お知らせの 2 点目は、今週末、8 月 6 日（土）、7 日（日）の開催が予定されている今治市民のまつり「おんまく」についてでございます。

8 月 1 日の「おんまく正副部会長会」において 3 年ぶりとなる今年の「第 25 回おんまく」を予定どおり開催することが決定しました。主催者からは「万全の感染防止対策を講じながら実施する」「各種イベントは一部を縮小・中止して実施する（踊り、高校生イベントは縮小、岡山理大軽音楽部イベントは中止）」ということをお伺っております。

新型コロナの感染拡大により、県は 7 月 12 日から警戒レベルを感染警戒期「特別警戒期間」に引き上げており、また、先ほどもお話ししたように、「BA. 5 対策強化宣言」の発令も想定されるなかで、この期間におけるイベントは、

1. 主催者は、マスク着用・手洗い・消毒といった基本的な感染対策

に加え、誘導、見回り、注意喚起などの三密回避対策の強化と参加者への効果的な呼び掛けを実施すること。

2. 参加者は、イベント参加時の感染回避 行動を徹底すること。
3. 市町は、主催者への注意喚起と参加者 への呼び掛けを実施すること。

の3点の対策を徹底した上で実施することが求められています。

このため、今治市から主催者に対して

○体調チェックや検温等の基本的な対策や、踊り連の人数や運行エリアを縮小すること

○イベントの中止や縮小を検討するとともに、実施するイベントも掛け声や発声などを禁止すること

など、「主催者に求められている対策」を徹底するよう強く要請しております。

また、開催にあたっては、市としても可能な限り感染拡大防止に協力することとしており、

○まつり当日は、主催者側で対応する感染対策の呼びかけとは別に、県今治支局や市教育委員会とも連携し、会場や周辺部の見回りを実施する

○今治市役所が出演する「市役所踊り連」は参加者を大幅削減し、

踊る際には横断幕等で感染対策の呼び掛けも実施する

など、例年、会場整理、踊りや花火の観覧者

への注意喚起などに、総勢300人以上の職員を動員しておりますが、県からの要請内容等も踏まえ、今年は特にコロナ対策として、さらに100名程度の職員を増員し、県と連携してバックアップする体制としていきます。

特に、おんまく花火には大勢の方が集まり、密の状態になる恐れがあります。どうか、マスクをきちんと付け、飲食等は控えて、歓声を上げずに静かに観ていただきたい。なるべく人の密集していない場所で観ていただきたい。今年は、今治CATVでの生放送に加え、YouTubeでの動画配信も新たに行いますので、これらをご利用いただいて、ご自宅でご覧いただくことも検討いただきたいと思います。

加えて、「おんまく」開催日に、どんどび芝っち広場で開催される

「第3回松本町大作戦」についてでございますが、こちらにも、基本的な感染対策に加え、来場者の特定や、会場スタッフによる誘導、ステージMCからの呼びかけを実施し、3密を回避するための対策を実施して開催することに加え、市からも職員を派遣して見回りなどの巡回する予定でございます。

最後に、市民の皆さまへの重ねてのお願いです。「おんまく」をはじ

め、これから開催されるイベントが、ウィズコロナ時代における新しい祭り、ニューノーマルの時代を切り開く先駆けとなるイベントとして、市民の皆さまのご協力をいただきながら安全に運営されることが、社会経済活動を円滑に進めるために何より重要であると思っております。イベント開催によって、感染拡大が進み、医療逼迫といったことにならないよう、今一度、市民の皆様、お一人おひとりが感染回避を意識した行動をしていただくよう、ご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

発表事項は以上でございます。